

爽やかな風薫る5月も過ぎ梅雨の時期になりました。皆さん、如何お過ごしでしょうか。

先日、お詣りに来られたお客様と霊苑までご一緒する機会がありました。

その方は「お父さんお母さん来ましたよ。」と、墓前に話しかけていました。

また、別のご家族連れも「お母さん皆元気だよ。子供は〇〇歳になったよ。」と、話していました。

二組とも名残惜しそうに帰られました。故人は悦んでいたでしょうね。

私のこころもホッコリ和みました。

その日は5月14日「母の日」。
霊苑ではカーネーションを持ってお詣りされる方や、カーネーションの花を挿している墓所を多く見かけました。

「母の日」は100年以上前にアメリカで生まれましたが、そのきっかけは亡き母を偲ぶ一人の女性の呼びかけから始まったそうです。

「父の日」はババで、由来は母の日と似ています。思い出は人それぞれ違うのに、お父さんお母さんに対する想いはみんな同じですね。

余談ですが、母の日のY家では「お母さんの料理で何が食べたい」と聞けば、卵焼き・豚汁・・・無言、他はないの？あゝ悲しい。S家では、母の日の

「は」の言葉もなく過ぎた一日でした。

いろんな母の日があると思いますが、ちよっと話をしに行こうかな、という感じで墓前での会話を楽しんで下さいね。



今年のヤマボウシの花は少し咲きかかったので、来月に期待☆
サツキは見事に咲いたよ♪



撮影:6月8日

夏 おすすめスポット

お隣松野町にパワースポットとしても有名な『滑床溪谷』があります。

専門ガイドの案内と装備の貸出により誰でも手軽に本格的なキャニオニングが体験できます。他にも四万十川でラフティングを楽しむことも出来ます。

これからの季節にオススメです♪
(予約必要)



四国 八十八ヶ所巡り

春になると良く見かけるようになる“お遍路さん”若き日の弘法大師空海の修行の地をたどる四国遍路。遍路の装備に厳密な決まりがあるわけではないのですが、旅立つ際に揃えておきたい衣装や道具を少し紹介したいと思います。

道具や衣装をきちんとすると身も心も引き締まりますね

- 首からかける略式の袈裟。** わげさ 輪袈裟
- 上部が五輪塔の形をした四角い杖。昔は巡礼者が途中で亡くなった際に墓標として使われたそうです。** こんごうづえ 金剛杖
- 表に、弘法大師を現す梵字と「同行二人」の文字と共に「迷故三界城 悟故十方空 本来無東西 何処有南北」と墨書きされています。** すげがさ 菅笠
- 背中に、弥勒菩薩を表す梵字と「南無大師遍照金剛同行二人」の文字が墨書きされています。** はくえ 白衣
- 合掌の際、右手は中指、左手は人差し指にかけて、3回程すり合わせ、次に左手にかけ直して読経を行います。また、珠を一つ繰るごとに仏を念ずる事から念珠と呼ばれるようになったと伝えられています。** ねんじゆ じゆず 念珠・数珠
- 参拝の際は経本を見ながら読経します。** きょうほん 経本
- 参拝の際は経本を見ながら読経します。** すだぶくろ さんやぶくろ 頭陀袋・山谷袋
- 納経帳や経本、その他の巡拝用品などを入れる鞆です。**
- 読経の前にあげます。** せんこう ろうそく 線香・蠟燭

NEW!

はじめまして。
今年4月から奈良山霊苑管理事務所でお世話になっております。亀澤沙織です。

分からない事はまだまだたくさんありますが頑張りますので宜しくお願いします。

今年の法要祭も無事に終わり初めての「餅まき」には大人も子供も袋いっぱいにお餅やお菓子を拾って楽しんでいましたよ。

法要祭には一部咲きだった桜も数日後には霊苑を桜色に染めてう〜ん満喫♪
ジメジメした梅雨もハッチャラだあ〜

発行元：奈良山霊苑管理事務所
〒798-1351
愛媛県北宇和郡鬼北町奈良4230-1
電話番号 0895-45-0164
http://narayama-reien.jp
営業時間 9:00~17:00

耳より情報

春から秋にかけて、夏場の暑くなる季節には、墓前の花筒をステンレス製から樹脂製に入れ替えると、水温が上がり難くお勧めですよ。

供花も長持ちするかも・・・
お試し下さい。

穴の大きさを測って来て下さいね
各種サイズ有り¥486~

お墓セミナー

毎月第2木曜日10:00~12:00
管理事務所2階にて

お墓の大切さや、日本人の先祖供養、時には〇〇な話に花を咲かせ、今年で6年目を迎えました。初めての方も大歓迎！お気軽にご参加下さいませ。



専務のコラム

皆さん、幸せですか？山下智恵です。

最近、私ってつくづく幸せだなあ、と感じています。「幸せな奴だな」とは若干違いますよ。

3月に次女が進学のために京都に行きました。生まれて初めての一人暮らしです。大学が決まるまでは都会での生活を楽しみにしていた娘でしたが、念願の大学が決まり旅立ちの日が刻々と近づくにつれ、心境にも変化があったようです。そんな時、遠く離れた新潟に住んでいた叔父が亡くなり、2日程私が家に居ない日がありました。お葬式が終わって新潟市内のホテルに帰り、何気に携帯でFBを開けると次女が投稿していました。そこには、

「雨に濡れて帰っても誰もおかえりって言わない。夜遅くまで勉強しても誰にも心配されない。食器も洗濯も洗わなければ一生そこにあるんやな。いつもそばに居てくれるのって当たり前じゃないんやな。一人暮らしってこういう事なんやな。家に居るのにホームシックです。」と。

もう今すぐ飛んで帰りたい気持ちになりました。

それと同時に言いようもない幸せな気持ちに包まれました。

6年前に国王夫妻が来日したブータン王国は「世界一幸せな国」と言われています。

なぜ幸せなのか？

9割の国民が農民で自給自足しているブータンは決して物質的に豊かであるとは言えない国ですが、家族の結びつきが強く、友人との時間を楽しみます。そして何よりも今の生活に満足しています。自分たちは幸せだと思っているから他人にも親切です。生活スタイルも近代化はしても西洋化をしないのです。

「世界一貧乏な大統領」といわれているウルグアイの大統領ホセ・ムヒカ氏は、「貧乏とは少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲がありいくらあっても満足しない人のことだ」と言っています。

また、彼は官邸には住まず郊外の自宅から運転して通い、自身の大統領報酬の9割近くを福祉基金に寄付しているとの事。

このムヒカ大統領を知った時、私はなかなかの衝撃を受けました。

まず日本ではこんな政治家にはお目にかかりませんよね。

結局、**しあわせ**かどうか決めるのは自分自身ということ。だとしたら、自分の周りにあるたくさんの嬉しいことに気が付ける自分でありたいな、と思う今日この頃です。大切なものを失う前に。